

券を発行しておりますので、その全額が町内消費に還元される見込みとなっております。昨年に比較しますと、667㎡、3,385千円の大幅な増となりました。今後とも出荷登録者の増加に努めて参ります。

◇株式会社アルビオンの 本町における事業について

アルビオン社につきましては、町の地域振興の観点から平成22年に旧米田保育園、室岱地区の町有地を植物関連研究拠点の目的で貸付して以来、企業の社会貢献の立場で町内において化粧品原料となる植物の栽培、研究が進められております。パイロットファームの延べ面積は約2.7ha、年を追うごとに栽培技術や研究の内容が深まり、白神研究所における事業は順調とうかがっております。

今年は、第二研究所の施設敷地として清水岱地区の町有地を無償貸付し、7月に着工した木造平屋建て、延べ床面積約525㎡の研究棟の建築工事が、12月下旬には完成の予定であり、その後、米田から清水岱に活動拠点を移行し、2月より収穫物の洗浄、乾燥、保管などの処理の本格稼働を予定しているとのことです。

また、町内の雇用の面でも、たいへん貢献いただいております。現在、白神研究所に勤務する従業員は、社員6名、パート1名、この他に本社から取締役をはじめ商品戦略推進室の担当社員が、事業の推進に向けて足繁く通っていただいております。

ります。春の新規採用社員の研修では、毎年、白神研究所に数名が派遣され、パイロットファームでの栽培作業などを研修しております。新年度は、研究所内に2名の新規採用が予定されております。今後は、農地保有適格法人化に向けた事業の推進、化粧品の配合原料品目を現在の5品目から10品目程度に拡大する研究、パイロットファーム内の栽培植物の輸出事業の検討、推進などに取り組む予定であるとのことで、町としても地域振興の観点からできる限りに支援して参りたいと考えております。

主な議案内容

◎ 藤里町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について

◎ 藤里町立幼稚園保育料徴収条例の制定について

◎ 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◎ 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◎ 議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◎ 職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ1,381万1千円を増額し、予算総額を36億1,464万2千円としました。

歳出の補正の主なものについてであります。まず、給与改定にともない、全款にわたって給料、職員手当等、共済費の補正を計上しております。総務費では、お試し住宅の改修工事費及び備品購入費、震災特別交付税交付金の返還金などを計上しております。民生費では、国保基盤安定繰出金、介護保険特別会計繰出金、後期高齢療養給付費負担金などの増額、農業費では、農畜産物処理加工センターの老朽化した金属探知検査機購入費、林業費では、分収林の立木売却交付金と立木購入費、作業道の維持補修費が主なものになります。教育費では、スキー場施設費にグレンデ補修にともなう土地購入費を計上しております。歳入の補正では、グリーン化特例に係る軽自動車税の重課課税分、国・県の国保基盤安定負担金の増額分、介護保険事業の制度改正にともなうシステム改修と臨時福祉給付金事務に係る国庫補助金、分収林立木売却収入、電算システム共同事業組合派遣職員の人件費収入、県道西目屋二ツ井線改良工事にともなう物件移転補償金などが主なものになります。財政調整基金繰入金は、今回の補正の歳入、歳出調整後の繰戻しを計上しております。

主な一般会計補正予算

(単位：千円)

歳入

民生費国庫補助金	1,720
国民健康保険基盤安定負担金	2,138
分収林収入	10,994
秋田県町村電算システム共同事業組合派遣職員分人件費	8,930
県道西目屋二ツ井線改良工事に伴う物件移転補償金	3,207

歳出

お試し住宅改修工事費	12,865
震災特別交付税交付金返還金	2,540
給付金対応プログラム修正委託料	767
国保基盤安定繰出金	3,483
後期高齢療養給付費負担金	4,189
加工センター金属探知検査機購入	1,026
分収林交付金	8,805